

12 日本のミュージカル

- *戦前は宝塚と浅草でそれぞれ独自の発展
- *戦前の浅草と戦後の東宝系ミュージカルをつなぐ存在が榎本健一(エノケン)
- *戦後は宝塚/東宝(帝劇)が中心、のちに劇団四季が参画
- *戦後1960年代初頭まではオリジナル・ミュージカルの創作が盛んだったが、1963年帝劇の『マイ・フェア・レディ』以降、海外のヒット作を移入して上演することが主流になる
- *創作ミュージカル集団もいくつも現れるが、成功は難しい
- *「2.5次元ミュージカル」は未来を開くのか？

●日本のミュージカル史年表

宝塚/東宝	浅草/四季	その他
黎明期(初期黄金期?)		
1914 宝塚少女歌劇第一回公演 (『ソンプラコ』『浮れ達磨』『胡蝶』)	1916 浅草オペラはじまる 帝劇洋楽部が解散、団員が浅草で公演)	
1919 宝塚音楽歌劇学校と宝塚少女歌劇団設立	1920頃 浅草オペラの全盛期 1923 関東大震災。浅草オペラの終焉	
1924 宝塚大劇場完成 1927 宝塚フランス風レビュー 『ソナパリ』	1928 1928東京松竹楽劇部(松竹歌劇団)創設 1928 浅草でカジノ・フォーリー(エノケン)	
1934 東京宝塚劇場	1935~ エノケンがミュージカルの映画量産	
1938 宝塚海外公演		1939 映画 『鶯鶯歌合戦』 1939 映画 『狸御殿』その後シリーズ化
戦争		
1946 宝塚活動再開 日劇でダンスショー	松竹歌劇団	1948 わらび座の前身誕生
1950年代~60年代初頭:オリジナル・ミュージカルの時代		
1951 帝劇ミュージカル第1回公演 (『ルガンお雪』菊田一夫、越路吹雪) 以後1年に5作ほど	1953 劇団四季設立(当初は演劇のみ)	
1956 東宝ミュージカル第1回公演 (『泣きべそ天女』雪村いずみ、 慥すれと恋すれと物語』エノケン、越路ほか)		1959 東京労音ミュージカル 『可愛い女』黛敏郎、 安部公房)
1960 東宝ミュージカル爆笑公演 『震の上団五郎一座』(エノケンほか)		1960 大阪労音ミュージカル 『見上げてごらん夜の星を』(いづみたく、永六輔)
1960年代半ば~ 輸入ミュージカル隆盛/オリジナル・ミュージカル低迷		
1963 帝劇がブロードウェイ・ミュージカル上演 (『マイフェアレディ』、江利チエミ、高島忠夫)	1964 四季がミュージカル開始。 オリジナルミュージカル 『はだかの王様』	
1967 宝塚がブロードウェイ・ミュージカルを上演 (『クラホマ!』)		1968 東京キッドブラザース結成
1967 帝劇 『屋根の上のバイオリン弾き』(森繁久彌)		1970 東京キッドブラザース オフ・ブロードウェイ 進出(黄金バット)
1969 帝劇 『マンチャの男』(松本幸四郎)	1971 四季ブロードウェイミュージカル上演 (『フローズ』、越路吹雪)	
1970 帝劇 『カーレット』(風と共に去りぬ)	1970s 『シーザス・クライスト・スーパースター』 『ウェストサイド物語』(タと不思議な仲間たち)	
1974 宝塚 『ベルサイユのばら』	1979 四季 『ローラスライン』でロングラン公演開始 1980s 四季 『ビータ』『ヤッツ』『オペラ座の怪人』 『夢から醒めた夢』	1977 音楽座 活動開始
1987 帝劇 『レ・ミゼラブル』	1990s 四季 『季香蘭』『イオンキング』(美女と野獣)	1983 ふるさときゃらばん 活動開始
1996 宝塚 『リザベート』	2000s 四季 『異国の丘』『南十字星』『ウィキッド』	1995 スイセイミュージカル 活動開始 1995 ミュージカル座 活動開始 1995 わらび座 オリジナルミュージカルの常設公演
2000 帝劇 『リザベート』		2000 東京キッドブラザース解散
2006 帝劇 『アリー・アントワネット』(海外に委嘱)		2003 『ヘニスの王子様』(2.5次元ミュージカル開始)